

令和 6 年度 学校評価書 ( 計画段階 )

福岡県立

柏陵

高等学校

44

<p><b>スクール・ミッション</b> (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>協働的な学びを通じて生徒の成長力を高め、持続可能な社会を担う人材を育成する学校 地域と連携したフィールドワークや課題研究等の教育活動を展開し、課題を解決する力や協働する力を身に付けた、持続可能な社会の発展に貢献できる人材を育成します。</p>	
<p><b>スクール・ポリシー</b> (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな目標を自らの意思で設定でき、その目標に向かって努力を継続する人材の育成</li> <li>・小さな気づきを大切に、周囲に配慮できる素直で心豊かな人材の育成</li> <li>・「課題を解決する力」「協働する力」など SDGs の実現に向けて幅広い分野で必要とされる人材の育成</li> </ul>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通科(一般コース)では生徒一人ひとりの能力・適性・希望進路にあわせた7類型を設置</li> <li>・普通科(環境科学コース)ではあらゆる進路に対応した4類型を設置して少人数での授業、及び地域と連携したフィールドワークや課題研究を実施</li> </ul>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の能力を伸ばすために、学業または部活動等に「最後まで・熱心に・継続して」取り組む生徒</li> </ul>

学校運営計画(4月)

<p>学校運営方針</p>	<p>国家・社会及び国際社会の有為な形成者として、自らの在り方生き方を自覚し、知・徳・体の調和のとれた、心豊かで志を持って意欲的に学びたくましい生き方のできる人間を育成する。</p>		<p>評価 (総合)</p>	
<p>昨年度の成果と課題</p>	<p>年度重点目標</p>	<p>具体的目標</p>		
	<p>確かな学力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「個別最適な学び」と「協働的な学び」を全教科で取り組み、「主体的・対話的で深い学び」を実現する。</li> <li>・観点別評価の評価規準やルーブリックの改善を組織的に取り組み、生徒の学ぶ意欲を引き出し、指導と評価の一体化を進める。</li> <li>・ク롬ブックの効果的な活用を研究し、学校全体で推進する。</li> </ul>		

様式3

<p>昨年度は学力検査と特色化選抜により本校で学ぶ意欲が強い生徒を成長させるために積極的なクロムブック活用と観点別評価の適切な運用に向けて職員研修の充実を図った一年であった。</p> <p>今年度は生徒が主体的に思考・判断して活動する場を増やして、自ら考え、行動して、振り返ることで自走する生徒の育成に努める。そのためにも観点別評価を充実させる。また、地域に信頼される学校を目指し、地域と連携した取組を一層推進する。</p>	<p>自立に向けたキャリア教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路希望の実現に向けて、関係職員で多様な受験方法について研究し、情報共有しながら教科・科目の指導に取り入れて組織的に生徒の進路希望実現を図る。</li> <li>・生徒が「学ぶこと」「生きること」「働くこと」の価値や課題を見出し、自ら考えて主体的な進路選択ができるように、計画的、組織的なキャリア教育を様々な機関と連携して進める。</li> </ul>
	<p>自己指導能力の育成にむけた組織的な生徒指導の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶や時間厳守の励行、自転車等の交通ルールの遵守など社会の形成者にふさわしい資質能力の習得を進める。</li> <li>・SNSによるトラブルやいじめ問題に対する未然防止と早期発見、早期対応に努める。</li> <li>・自他の個性を尊重し、相手の立場に立って考え行動できる相互扶助で共感的な人間関係づくりを促す。</li> </ul>
	<p>地域や外部団体との連携の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校等との学校種間交流を推進し、学校に対する印象を改善するとともに、生徒の自己肯定感を高める。</li> <li>・地域の行事に生徒や職員が積極的に参加するとともに、学校の行事に地域の方々の参加を促し、交流を深める。</li> <li>・PTAや後援会、同窓会と教職員がポストコロナにおける連携の充実を図る。</li> <li>・教職員が一丸となって広報活動の一翼を担い、中学校への広報活動を一層推進する。</li> </ul>
	<p>学校力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践的な教員研修を行い、授業力、生徒指導力、進路指導力等の向上を図る。</li> <li>・業務の統合や効率化を図り、生徒と向き合う時間の確保に努める。</li> <li>・OJTを通じた教職員の育成を通して、学校の課題に自ら取り組み、解決のため努力する教職員集団をめざす。</li> </ul>

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の結果等
教務	生徒の学力の保障と学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年・教科と連携し、成績不振および欠席・遅刻の多い生徒を早期に把握し指導を充実させる。</li> <li>予習・復習の仕方や教材の使い方を丁寧に指導し、家庭学習を計画的に実施させる。</li> <li>学年・教科と連携し課題の提出を徹底させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業アンケート(教員・生徒)</li> <li>学校満足度アンケート(生徒・保護者)</li> </ul>	
	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>クロムブックの効果的な活用方法を研究するとともに、教科横断的に情報交換する。</li> <li>アクティブラーニング等の生徒の活動の実施を向上させる。</li> <li>ICTを活用した授業の研究と実践を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業アンケート(教員・生徒)</li> <li>学校満足度アンケート(生徒・保護者)</li> </ul>	
	指導と評価の一体化の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>観点別評価の評価規準やルーブリックをしっかりと策定し、生徒の学ぶ意欲を引き出す。</li> <li>学力向上にむけて生徒自らPDCAサイクルを実行できるようコーチングしていく。</li> <li>研修課と連携し、指導力および評価方法についてスキルアップを図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業アンケート(教員・生徒)</li> <li>学校満足度アンケート(生徒・保護者)</li> </ul>	
	職員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内職員研修の意義を周知し、指導に還元できる研修会を企画・運営する。</li> <li>OJTの一環として自主研修会を適宜開催し、職員の指導力向上を図る。</li> <li>職員のキャリアステージに応じた校外研修への積極的な参加を促す。</li> <li>指導法と評価法をアップデートするための教科研修を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業アンケート(教員・生徒)</li> </ul>	

様式3

研修	「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善	1人1台端末を活用した研究授業等を行い、職員間で手立てを共有する。 連携大学アドバイザーからの指導・助言を受け、職員の指導力向上を図る。	授業アンケート(教員・生徒) 学校満足度アンケート(生徒・保護者)	
	人権・同和教育の充実	体系化された全体計画を立て、人権教育授業の事前検討を入念に行う。 人権・同和に関する協議型の職員研修を通して職員の人権感覚を涵養する。 「人権読み物」を活用し、日常の教育活動から生徒の人権意識を高める。		
生徒指導	学校組織としての生徒心得 校則の遵守 (自己教育力の育成)	挨拶の励行、適切な言葉遣い、話を聞く態度の指導 全職員による身だしなみを整える指導 時間厳守の指導(遅刻者の減少)	学校満足度アンケート	
	危機管理能力の育成 (SNS・交通安全・公共の場)	スマートフォン持込許可制とSNS柏陵ルールの遵守 自転車通学指導の実施、交通ルール遵守の指導 良好な人間関係の構築	学校生活アンケート いじめアンケート(無記名) 保護者いじめアンケート	
	生徒会活動の充実と部活動 の強化	様々な学校行事への生徒の興味・関心の喚起 生徒会の主体的な活動の育成(各専門委員会の活性化) 部活動の充実(リーダーシップ・心技体バランスのとれた指導)	学校生活アンケート	
保健	生徒、職員の健康に関する 啓蒙活動や健康相談活動の 充実	全職員と連携し、生徒の健康情報の把握に努める。 保健委員会活動を通して、生徒の健康意識の向上を図る。 SC,SSW等によるカウンセリングや特別支援の充実を図る。 教育相談会議を通して職員全体の共通理解と連携を徹底させる。	保健調査票(生徒)	
	校内美化活動の充実及び安全 管理の徹底・意識の向上	美化コンクール等を通して、校内美化活動を推進する。 美化委員会活動を通して清掃用具の整備・管理の指導を行う。 校内安全点検を実施し、危険箇所の早期発見・早期整備を図る。 防災教室、熱中症対策講演会、救急実技研修会等を行い、安全に関する意識向上を図る。	校内安全点検(職員) 清掃用具点検(生徒・職員)	
総務	諸行事の適切な企画・運営の ための各分掌・学年との連絡 調整	諸行事の適切な企画立案と、その円滑な遂行に努める。 前年度までの反省点に留意しながら、行事の改善に努める。 校内外の大会等の実績を表彰することで、生徒の意欲の向上につなげる。		
	校内の施設・設備の整備	働きやすく快適で安全な職場環境を整備する。 互助会の活動に協力し、職員の福祉の増進に寄与する。		
	PTA・同窓会・後援会との適 切な連携	PTA・同窓会・後援会の活動に協力し、本校の教育目標実現を目指す。 関係行事の保護者向け案内を早めに配付する。		
	3年間を見通した進路指導計 画	HR活動・総合的な探究の時間等における進路学習(進路行事)を企画・実施する。 大学入試制度(総合型選抜・学校推薦型選抜・一般選抜等)の活用方法を検討・確立する。 公務員・就職希望者に対する指導体制を確立する。	学校満足度アンケート 進路希望調査	

様式3

進路指導		『進路のしおり』の内容を精選し、進路指導により活用できるものにする。		
		夏期講習、冬期講習の実施方法を検討する。		
	多様な受験方法の研究、情報共有	入試分析会・志望校検討会を実施し、生徒に最適な受験方法を組織的に検討する。 校外模試・小論文模試・看護医療模試の実施と模試分析会等を充実させる。 外部検定試験受験を組織的に促し、指導を行う。	進路希望調査	
自ら考え、学び、行動できる生徒の育成		計画的、組織的なキャリア教育ができるよう様々な機関と連携する。		
		自己決定の場を様々な場面で設け、生徒が自ら考え行動できるよう促す。		
広報	本校の充実した教育活動を発信する	魅力ある「学校案内」、「学校ポスター」を作製する。 定期的に「かしわんたいむす」を発行する。 SNS等を活用して本校の日々の活動を発信する。	特色化選抜入学生徒アンケート 学校満足度アンケート	
	本校の魅力を中学校、中学生、保護者に伝える機会を作る	内容の充実した体験入学・学校説明会を実施する。 中学生やPTAの一日体験を積極的に受け入れる。 学校開放や説明会を柔軟に実施する。	体験入学・学校説明会参加アンケート	
第一学年	基礎学力の向上(学び直し)	中学校での学習内容を復習し、学び方を学ばせる。 週末課題を充実させ、学習習慣を身につけさせる。 手帳を活用して計画性を持たせ、学習時間の確保につなげる。	学習時間調査、進路希望調査	
	基本的な生活習慣の確立(鍛え直し)	遅刻・欠席を減らし、挨拶・掃除・時間厳守を徹底する。 人間関係構築のためのトレーニングを取り入れる。 できたことを褒めて、生徒の自己肯定感を高める。		
第二学年	人から応援される集団作りを支援する	日頃から相手の視点に立った行動を選択させる。 生徒個人を大切にしながら、集団へ貢献できるよう指導、助言を行う。 勉強や部活、行事に前向きに取り組める雰囲気を生徒から発信させる。		
	生徒の学ぶ意欲と学力を向上させ、進路実現の準備を充実させる	課題や授業内容、朝楷樹を見直し、生徒の学習時間を増やす。 定期的に目標設定する場を設け、目標設定を習慣化する。 大学・専門学校等の最新の入試情報を集め、対応した指導を行う。	学習時間調査、進路希望調査	
第三学年	最上級生として範となり、自他の成長のために最善の行動ができる	挨拶、清掃、時間の管理等や規則の遵守など、教員が率先垂範して凡事徹底を図る。 校行事等において生徒に寄り添い、個別・場面別に適宜助言を行い、リーダーシップやフォローアップが発揮できるように支援する。 多様性を尊重し、個々の能力や特性を認め合える環境を整え、豊かな人権感覚を涵養させる。	二者面談・三者面談	
	自らを律し、基本的な生活習慣と計画的な学習習慣を確立する	授業規律を重んじ、学習環境を整備して授業を最大限に充実させる。 クラッシーやGoogleアプリの学習ツールを積極的に活用し、その定着を図る。 朝楷樹の内容を充実させ、生徒の学習意欲や基礎学力を向上させる。	学習時間調査	
	学習成績と進路選択にこだ	放課後の学習会や自習スペース等の環境を整え、個人および集団の学びに向かうモチベーションを高める。		

様式3

	わりをもち、納得できる進路を実現する	外部模試の結果を分析し、進路指導課および教科担当と連携を図りながら個別の進路指導を充実させる。 面談や進路情報の提供を充実させ、生徒が自らの意思で納得できる進路決定ができるよう支援する。	進路希望調査	